



平均年齢は30代半ば。勤務中は制服、私服どちらも自分の好きなスタイルが選べる。充実した環境のなか理系、文系を問わず若手社員がしなやかにスキルアップを実現している

もともと大学では食品栄養学を専攻していた小林さん。あえて「電子部品メーカー」を選んだ理由について、「大学ではレタスの研究における実験を行っていました。そのときに実験の楽しさに気づき、ここなら自分の探究心を発揮できる環境があり、文系出身者も多く活躍していることを知り、入社を決めました」と当時を振り返る。さらに「生まれ育った地元で技術を生かし、新しいモノを創り出せる環境のなかで仕事ができることに魅力を感じました」と続けた。社内では定期的に勉強会や研修が行われており、業務で必要

とされる専門知識やスキルが習得できる環境が整えられている。日々意識しているのは、「お客さまの要求に応えるため、納期や品質面で問題が発生しないよう、迅速な新商品立上げや不良削減を心がけています。そのためにも関係部門とのコミュニケーションを深めながら、組織間の連携強化に努めています」と語ってくれた。「今後はさらに知識の幅を広げて、周囲から頼られる存在になれるよう技術を練磨していきたい」と力強く語ってくれた。そのまっすぐなまなざしは「モノづくり」の未来を見つめている。



① 一日のスケジュール

- 8:20 出社**
朝礼後は、一日のスケジュールの確認に加え業務の進捗状況や業務内容を報告
- 9:30 製造現場での業務**
製造現場で製品の寸法データ取りや新商品用の測定器のプログラム変更
- 12:00 昼食・休憩**
社内の食堂でランチタイム。豊富なメニューと広々空間でリフレッシュ
- 13:00 オフィスでの業務**
関係者との打ち合わせのほか、コストダウン施策の遂行やレポート作成
- 17:00 退社**
流動結果をまとめ、関係者にメールで共有する。また明日のスケジュール確認も

「実験を重ねながら、モノづくりが出来るよろこびと誇りを感じています。」

製造現場の最前線で最適な条件を導き出す。おだやかに流れる吉井川の近くに、世界に通用する「モノづくりに挑み続ける総合電子部品メーカー「岡山村田製作所」がある。電子部品業界では世界トップクラスのシェアを誇り、国内外100社社からなる「村田製作所」グループにおいて、同社はスマートフォンやウェアラブル端末などの市場をメインターゲットとする中核生産拠点に位置づけられている。同社で生産する電子部品は、日々の暮らしに欠かせないパソコンやスマートフォン、家電などさまざまな生活シーンで活躍するものばかりだ。



働きやすい職場環境

2019年に完成したラウンジ。3つのエリアで構成されており、個室からフリーミーティングスペースまで用途や気分に合わせて使える「くつろぎの空間」が広がっている



小林愛実さん Profile

大学生のころアルバイトしていた日本料理店で「お皿1枚で料理がこんなにも変わるんだ」と食器の魅力に目ざめた小林さん。以来、休日には工務めぐりや収集などが趣味に。充実したオンとオフを存分に満喫中

仕事とプライベートの両立

女性だけでなく、男性の育児休暇取得を積極的にすすめているのも同社の魅力。ワークライフバランスを意識した働き方改革にも積極的に取り組んでいる



同僚との良好な関係

小さな困りごとでもすぐに上司や同僚に相談・共有できる環境が整っている。そうした風通しのよい社風が96%という高い定着率につながっている（※2018年大卒新卒3年後）



おかやまむらたせいさくしょ
株式会社岡山村田製作所
瀬戸内市邑久町福元77
TEL.0869-24-0911
<https://corporate.murata.com/ja-jp/group/okayamamura>



Pickup! 地域貢献活動



現在、岡山に拠点を置く全日本フリースタイルBMX連盟のパートナーとしてBMXフリースタイルを応援している。2021年には2名のプロライダーや社員が出演し、会社のPR動画をオリジナルで制作。スポーツ以外の分野でも地域を活性化させるため活動を行っている。

第三製造部技術一課に所属する小林さんは入社4年目。今はスマートフォンなどで使われる通信用部品の製造に携わっているそう。「製品の加工条件を実験によって導き出し、安定量産できる環境づくりに取り組んでいます。製造現場には条件出しという作業があつて、これは製品を作る際に温度や時間などさまざまな条件を設定するもの。そのなかから最適な条件を探ることが私の仕事なんです」とほがらかに話す。小林さんの担当業務は製造現場の最前線に位置しているため、顧客からの要求や品質、納期がクリアできるかを左右する重要な業務で責任も大きいとのこと。

